

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K01
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動I			実技・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	60	1	島田 幸紀/梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
球技大会や遠足、各種展示会の見学、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授業の概要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・遠足・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成績評価の方法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
入学式			4		
新入生オリエンテーション			18		
展示会見学等			8		
防災訓練			2		
秋の遠足			8		
スポーツフェスティバル			8		
始業式・終業式など			12		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K03
授業科目名			授業形態		学科・コース
キャリアサポート I			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	30	1	人材サポート 長崎一朗 富田美穂子 近田麻衣子
授業の目的・到達目標					
<p>「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中で自分のあり方についての理解（自己分析）を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践的ノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。</p>					
授業の概要					
<p>キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチカ特勒ニング・ディスカッション等によりEQコミュニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進、自己分析のワークシート（課題）と履歴書（課題）を作成し、今後の就職活動にも連動していく。</p>					
成績評価の方法					
<p>出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果や取組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。</p>					<p>課題 80% 学習意欲 20%</p>
使用テキスト・教材					
<p>「就活のコツ／静岡新聞社」 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します</p>					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1 ①就職できる力／ワーク①天職探索	2	10 ⑩エントリーシート ⑰自己PR動画	2		
2 ②夢を描く／ワーク②10年後のありたい自分 ワーク③学生生活経歴書	2	／ワーク⑬エントリーシート ワーク⑭自己PR 11 ⑬面接の受け方	2		
3 ③業種・職種の理解／ワーク④成功体験	2	⑮集団・グループディスカッション			
4 ④何ができる何がしたい ⑭ステップアップ ／ワーク⑤失敗体験	2	⑯オンライン面接 ／ワーク⑯面接対策 ワーク⑰面接質問			
5 ⑤自分を知る自己分析／ワーク⑥自己ワークシート	2	12 ⑪添え状	2		
6 ⑥⑦求人票・求人情報／ワーク⑦他己ワークシート	2	⑫電話のかけ方			
7 ⑧職場訪問／ワーク⑧仕事探索 ワーク⑨未来予想 ワーク⑩未来スケジュール	2	⑱筆記試験 ／ワーク⑱封筒・添え状・お礼ワーク			
8 ⑨インターンシップ ／ワーク⑪就職条件⑫インターンシップワーク	2	13 キャリアデザイン論総括	2		
9 ⑩履歴書／ワーク⑮履歴書※「学校指定」履歴書	2	14 就職ゼミ	4		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K04
授業科目名			授業形態		学科・コース
キャリアサポートⅡ			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	30	1	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。また、就職活動にも活かしていく。					
授業の概要					
「社会人としての心構えやルール」、「効率的な仕事の進め方」、「変化への機敏な対応」を学び、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。また就職活動でも困らないビジネスマナー（電話対応やメールなど）も体得する。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。				期末試験	60%
				課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
社会人の教科書1年生 新星出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	ビジネスパーソンとしての心構え		8		
2	コミュニケーションとビジネスマナー		6		
3	コンプライアンスとセキュリティ		2		
4	ビジネスライティングの基本		6		
5	電話対応		2		
6	名刺交換		2		
7	会社訪問		2		
8	期末試験		2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度				
				科目コード	C-K05				
授業科目名			授業形態		学科・コース				
ビジネスアプリケーション			演習		コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	前期	必修	30	1	梅原 萌子/松川 麻美				
授業の目的・到達目標									
Microsoft Office 365 の Word と Excel の基礎を習得する。Word・Excel の操作及び演習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深める。ビジネス文書作成、関数を使った表作成が理解できるようになる。									
授業の概要									
Word では、様々な機能を習得し、最終的に簡単な表と図などが含まれたビジネス文書を作成することが出来るようになる。Excel では、基礎的な関数、少し高度な関数 (IF・VLOOKUP) の習得、グラフ、データベース機能を使用し、視覚的にデータをまとめる技術を身に付ける。									
成績評価の方法									
学習意欲、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。演習課題については、要求された課題を、決められた期日までに提出することが最低条件である。					<table border="1"> <tr> <td>課題</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>学習意欲</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	80%	学習意欲	20%
課題	80%								
学習意欲	20%								
使用テキスト・教材									
今すぐ使えるかんたん Word&Excel2021 (技術評論社) 演習課題 (自作)									
授業内容・授業計画									
		時間数			時間数				
Word			Excel						
1.基本操作		1	1.基本操作		2				
2.基本的な文書を作成しよう		2	2.表を作成しよう		2				
3.文書を編集しよう		2	3.数式を使って計算しよう		2				
4.表を作成しよう		2	4.関数を使って計算しよう		3				
5.図形と画像を挿入しよう		2	5.表の見た目を整えよう		2				
			6.グラフを作成しよう		2				
			7.条件付き書式を設定しよう		2				
			8.データを整理しよう		2				
			9.シートやブックを使いこなそう		2				
			10.表を印刷しよう		2				
その他			関連科目						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2026年度
					科目コード	C-K06
授業科目名			授業形態		学科・コース	
情報基礎理論			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄	
授業の目的・到達目標						
基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格するために十分な得点を取ることを目標とする。2進数～16進数の基礎的な計算、基数変換ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。						
授業の概要						
情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置など、基本的な仕組みを学習する。						
成績評価の方法						
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	40%
					小テスト	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
「ITワールド」(インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. コンピュータの基本構成						
1-1. コンピュータの歴史			4			
1-2. コンピュータの五大装置			4			
2. コンピュータのデータ表現						
2-1. データの表現			8			
2-2. 基数と基数変換			8			
2-3. データの表現形式			4			
期末テスト			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K07
授業科目名			授業形態		学科・コース
コンピュータシステム			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
基本情報技術者試験に合格するため、情報処理全般のうち情報処理システムおよびソフトウェアに関する知識を理解し、合格への得点獲得率をあげる。これにより、基本情報技術者試験の科目A免除試験の合格を実現する。					
授業の概要					
<p>1. 情報処理システムの形態、高信頼化、評価に関する技術体系に関する知識を習得し、常に進化する情報処理システムに誕生する専門用語を確実に覚える。</p> <p>2. ソフトウェアの分類、OSおよびプログラム言語とファイル構造に関する知識を体系的に整理し、専門用語を覚える。</p>					
成績評価の方法					
前期（7月）：当該授業の学習範囲に対して実施する				期末試験	50%
小テスト：授業時に実施する小テストを評価する				小テスト	20%
学習意欲：学習に対する意欲を総合的に評価する				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
ITワールド (株)インフォテック・サーブ					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 情報処理システムの処理形態			6. ソフトウェアの分類		
(1) 非対話型と対話型		2	(1) 体系分類		4
(2) 一括、即時、集中、分散		4	(2) ライセンス分類		2
2. 高信頼化システム			7. OS		
(1) 直列、並列		4	(1) 機能と構成		4
(2) 多重化		4	(2) 管理機能		4
3. 情報処理システムの評価			8. 言語とプロセッサ		
(1) 処理能力		6	(1) プログラム言語の分類・特性		4
(2) 信頼性と経済性		4	(2) プログラム言語の属性		2
4. ヒューマンインタフェース		2	9. ファイル		
5. マルチメディア		2	(1) ファイルとレコード		2
			(2) アクセスと編成		4
			(3) 管理とバックアップ		4
			10. 試験		2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2026年度
					科目コード	C-K08
授業科目名			授業形態		学科・コース	
システム開発基礎			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀	
授業の目的・到達目標						
<p>情報処理技術者試験基本情報技術者試験（午前出題範囲）の「システム開発基礎」3分野(*)の知識を習得し、対象範囲の問題に対応できるようになる。</p> <p>(*) 情報システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント</p>						
授業の概要						
<p>システム開発基礎の内容は、多くの学生には馴染みが薄い。更に、対象範囲が広く、個人対応では限界がある。また、資格取得問題に早く慣れる必要もある。このため、各人の力の結集を図る。</p> <p>具体的には、試験問題内容の説明後、グループ内で全員の分担を決め、各々が担当分問題の解及び周辺情報を収集する。これにより、適宜試験問題に触れ、自分の力で解くようになることを目指す。その上で、収集した情報をグループ内で共有し、全員が広い範囲に対応できるようになることを目指す。</p>						
成績評価の方法						
<p>期末試験の結果、課題の提出および学習意欲をもとに、総合的に評価する。</p> <p>適宜行う小テストで学習意欲を、また課題により、講義および試験問題に出る基本事項を理解しているか、評価する。</p>					期末試験	60%
					課題	10%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
「IT戦略とマネジメント」(インフォテック・サーブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
第3部 情報システム戦略				第5部 プロジェクトマネジメント		
第1章 情報システム戦略の概要			3	第1章 プロジェクトマネジメントの概要		1
第2章 情報システム企画			3	第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス		7
第4部 開発技術						
第1章 システム開発技術 (SLCP 開発プロセス)			8			
第2章 ソフトウェア開発技術			6			
第3章 システム開発環境			1			
第4章 Web アプリケーション開発			1			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K09
授業科目名			授業形態		学科・コース
IT戦略			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	山崎 弘
授業の目的・到達目標					
<p>国家資格「基本情報処理」の午前免除試験の合格できるようになる。 合格には、企業と法務、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、監査と内部統制に関する知識を習得し、得点獲得率を高めることが重要です。</p>					
授業の概要					
<p>IT戦略とマネジメントの分野について、IT技術を活用した企業活動や各種戦略マネジメントに関する知識を習得します。授業は講義と問題演習を通じて、専門用語の理解と体系的な知識を関連付け、国家試験問題の傾向を過去問題から分析しながら効率的な授業をおこなう。</p>					
成績評価の方法					
試験：前期（7月）：当該授業の学習範囲に対しておこなう				試験	50%
課題：授業時に配布するレジュメの学習状況を評価する				課題	20%
意欲：毎時の学習意欲および学習姿勢について、総合的に評価する				意欲	30%
使用テキスト・教材					
<p>IT戦略とマネジメント（(株)インフォテック・サーブ） 授業時に配布する学習項目毎のレジュメ、演習問題</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1部・2部(山崎)			6部・7部(山崎)		
1. 企業と法務		4	8. サーマネジメント		3
2. 企業会計		4	9. システム監査と内部統制.		3
3. 経営科学		4	10. 試験		
4. 法務と標準化		2			
5. 経営戦略マネジメント		4			
6. 技術戦略マネジメント		4			
7. ビジネスインダストリ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	町野 教和
授業の目的・到達目標					
<p>プログラムを構築するためには、効率よくトレースしやすい処理手順を考えなくてはならない。 3つの基本構造を理解し、配列による集計や、並び替えなど様々な処理手順を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>データ構造とアルゴリズムについて学習する。フローチャートの作成やトレース、よりプログラムに近い疑似言語を学習する。 また、基本情報技術者試験に必要なアルゴリズム分野を学習する。</p>					
成績評価の方法					
小テスト、試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	80%
				課題	10%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
<p>初心者が合格できる知識と実力がしっかり身につく 基本情報技術者 [科目 B] (SB クリエイティブ) 科目 B 試験対策問題集(インフォテック・サーブ)</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
概要		6			
流れ図		4			
疑似言語		4			
科目 A 対策		12			
計算のアルゴリズム		8			
繰り返し		4			
配列		4			
探索		4			
整列		4			
データ構造		4			
実践アルゴリズム		4			
期末試験		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2026年度
					科目コード	C-K11
授業科目名			授業形態		学科・コース	
システム設計基礎			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	小宮山 洋	
授業の目的・到達目標						
システム開発の現場では設計書の作成することは重要である。 情報処理試験で問われる設計に関する知識を前提として、各設計書の必要性を理解し、顧客の要求を理解して設計書に落とし込むことができるようになる。						
授業の概要						
システム開発に当たり、要件定義、外部設計、内部設計、実装、テストの各フェーズを演習により学習する。実際にドキュメントを作成しながら実装前、実装後に必要なスキルを身につける。 状況により上級生の制作物を参考にする。						
成績評価の方法						
課題および学習意欲、発表および提出物の内容をもとに、総合的に評価する。					発表	60%
					提出物	30%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
必要に応じて配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
基礎知識			2			
個人作成テーマ			8			
グループ演習			16			
発表			4			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2026年度
					科目コード	C-K12
授業科目名			授業形態		学科・コース	
データベース基礎			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀	
授業の目的・到達目標						
基本情報技術者試験におけるデータベース分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。データベースの概念設計から物理設計までの概要とDBMSに対する概要を理解している。SQLを利用した基礎的なデータ操作を実行でき、机上の問いに答えることができる。						
授業の概要						
関係データベースを中心に、データモデルとデータベースシステムの基本概念を理解し、授業範囲と対応する基本情報技術者午前問題集を活用し、問題を解く力をつける。						
成績評価の方法						
試験結果・小テストおよび学習意欲を勘案して総合評価する。					期末試験	70%
					小テスト	20%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
ITワールド (インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
第1節	データのモデル化		3			
第2節	データベース設計		3			
第3節	データの正規化		3			
第4節	SQLの基本		3			
第5節	SQLの応用		4			
第6節	データベースの演算		4			
第7節	データベース管理システム		4			
第8節	データベース応用試験		4			
試験			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク基礎		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	高木 健至
授業の目的・到達目標					
インターネットに代表される、コンピュータネットワークの基礎知識を学び、ネットワーク構築技術を習得する。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授業の概要					
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN、インターネットの仕組みを学習する。					
成績評価の方法					
試験結果および学習意欲を勘案して総合評価する。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
第1章 ネットワークの仕組み LAN、WAN 変調、同期、誤り制御	6	第5章 ネットワーク管理 管理ツール	2		
第2章 ネットワークアーキテクチャ OSI、TCP/IP	6				
第3章 LAN 有線、無線、トポロジ CSMA/CD、LAN 間接続装置	6				
第4章 インターネット TCP/IP プロトコル 電子メール、WWW	10				
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K14
授業科目名			授業形態		学科・コース
WebプログラムI			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小澤 朋子
授業の目的・到達目標					
Web サイト制作の基本となる HTML5、CSS3 によるコーディング方法を学習する。現在の Web 制作は JavaScript は必須であることから、サンプルをもとにプログラミングとマークアップの共存を理解しつつ、Web におけるマークアップの存在を理解できるようになる。					
授業の概要					
Web 制作において、HTML・CSS は必須の知識ではあるが、頻度の高いマークアップ手法やルール、ページ構成など主に学ぶ。サンプルページ制作において実践的に学ぶことが習得の近道となるため、欠課数が多いと試験の結果に大きく影響する。ページ制作を通じて別のプログラミング言語と共存していく意識を伝えることも重要となる。					
成績評価の方法					
期末試験の結果、課題の評価点、学習意欲（出欠席状況、授業態度）を総合評価した上で決定する。課題提出は、必要最小限の機能が実現され、期日提出が評価の対象となる。				期末試験	50%
				課題	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
HTML/CSS の絵本（web コンテンツ作りの基本がわかる 9 つの扉）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.オリエンテーション			2		
2.Web サイトの概要			2		
3.HTML の基礎			3		
4.HTML の要素			4		
5.CSS の基礎			4		
6.CSS プロパティ（1）			4		
7.CSS プロパティ（2）			4		
8.レスポンシブデザイン			4		
9.JavaScript			3		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2026年度
					科目コード	C-K16
授業科目名		授業形態		学科・コース		
情報セキュリティ		講義		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	6	坂本 登喜雄/梅原 萌子	
授業の目的・到達目標						
インターネットを中心に発展した情報技術のうち、情報セキュリティに関する基礎的知識及び技術を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。						
授業の概要						
公開鍵暗号技術を中心にした現在の情報セキュリティ基盤を学習し、その概要を理解する。また、情報セキュリティ対策を、人的対策、技術的対策及び物理的対策毎に学習する。 基本情報技術者試験対策として、基本情報技術者試験問題集のうち情報セキュリティ問題を実施する。						
成績評価の方法						
試験結果で、総合評価する。					前期 期末試験	100%
					後期 期末試験	60%
					課題	30%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
ITワールド (インフォテックサーブ) SEA/J テキスト						
授業内容・授業計画						
		時間数				時間数
第1章 情報セキュリティの概要			10. SEA/J 試験対策			48
1. 1-1 情報セキュリティの概要		4	11. SEA/J 試験			2
2. 1-2 情報セキュリティ技術		8				
3. 1-3 情報セキュリティ管理		5				
4. 1-4 情報セキュリティ期間・評価 基準		5				
第2章 情報セキュリティ対策						
5. 2-1 人的セキュリティ対策		4				
6. 2-2 技術的セキュリティ対策		4				
7. 2-3 物理的セキュリティ対策		4				
8. 2-4 セキュリティ実装対策		4				
9. 試験		2				
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	栗嶋 竜太
授業の目的・到達目標					
プログラミングの基本構文を理解し、200行程度のプログラムが書けるようになる。 C言語プログラミング能力認定試験3級、2級の合格を目標とする。					
授業の概要					
C言語プログラミング能力認定試験に関連した下記の分野を学習する。 データの入力と出力 配列 プリプロセッサ プログラミングの基本構造 ポインタ 構造体 関数 データ型変換 ファイル処理					
成績評価の方法					
期末試験の結果に、学習意欲を加算して総合評価する。					期末試験 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
スッキリわかるC言語入門 第3版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
開発環境の準備、概要		2	ポインタ		4
データの入出力		2	プリプロセッサ		4
データ型		2	変数の操作		4
構造化プログラミング		20	構造体、列挙型		4
選択			ファイル入出力		4
繰り返し			期末試験		4
配列		12	資格試験対策、本試験		16
関数		8			
復習		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K20
授業科目名			授業形態	学科・コース	
情報処理試験対策 I			講義	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	210	14	梅原萌子/町野教和/松川麻美
授業の目的・到達目標					
<p>コンピュータ科重点目標である「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の合格に向けた対策授業を行う。</p> <p>試験に合格できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>前期学習する基本情報技術者関連科目について、復習を中心とした理解の定着と、基本情報技術者試験の過去問題から傾向と対策を施し、合格を目指した学習を行う。</p>					
成績評価の方法					
出席業況、授業態度等を勘案して総合評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
情報処理試験問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
			30		
			40		
			140		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格取得講座 I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	梅原萌子/松川麻美
授業の目的・到達目標					
<p>情報分野を学ぶ者にとって、実際のコンピュータ製品を理解することは重要なことである。サーティファイ情報処理技術者認定試験第2級1部で問われる内容に対応できるようになる。後半ではC言語プログラミング能力認定試験3級に合格できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>テキストの単元に沿って進めていく。ハードウェア、ソフトウェア、周辺機器等について理解度を深める。また、単元終了ごとに小テストを行い、単語やキーワードの理解、定着を図る。後半はサーティファイプログラミング能力認定試験3級合格を目指す。</p>					
成績評価の方法					
小テスト、情報処理技術者認定試験結果および出欠席状況、期末試験結果を勘案して総合評価する。 C言語試験については3級の試験と同等の試験を実施しその結果を成績とする。				期末試験	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<p>情報処理技術者認定試験 過去問 C言語の演習問題は適宜提供する</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
情報処理技術者認定試験演習		38	C言語 試験問題演習		18
試験		2	期末試験		2
その他			関連科目		
			プログラム言語 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク応用		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	高木 健至 / 町野 教和
授業の目的・到達目標					
ネットワーク分野において基本情報技術者試験の対策授業で習得した知識をもとに、ネットワークの実践構築を行う。ネットワーク構築シミュレーションソフトを活用して、ネットワーク機器の設定や接続、LAN 構築などネットワークに関する応用力を培う。					
授業の概要					
CISCO 製のネットワーク機器 (スイッチやルータなど) の基本概念を理解することから入り、その機器を使った LAN 構築を演習する。インターネットを中心としたネットワークインフラの仕組みを理解し、機器の設定やケーブリングなど実践的な LAN の構築を行う。					
成績評価の方法					
演習課題の提出、小テストおよび期末試験をもとに、総合評価する。				期末試験	50%
				課題	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	ネットワークキュリティ(基本情報科目 B)		12		
2.	Cisco パケットレーサー導入・基本操作		4		
3.	ルーティング設計・設定		8		
4.	DHCP・DNS 設定		4		
5.	NAT・NAPT 設定		4		
6.	総合演習		10		
7.	ネットワークキュリティ(応用)		16		
8.	期末試験		2		
その他			関連科目		
Cisco Networking Academy ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度				
				科目コード	C-K26				
授業科目名			授業形態		学科・コース				
プログラム開発演習			演習		コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	後期	必修	30	1	町野 教和				
授業の目的・到達目標									
<p>これまでに学んだC言語やC#を用いて実際にソフトウェアを開発する。 実際の開発現場で使われている統合開発環境の活用方法を学ぶ。</p>									
授業の概要									
<p>C言語とC#を用いたソフトウェア開発の基本を理解し、統合開発環境(IDE)を使ってデスクトップアプリケーションを作成できるようになる。 コンパイル、実行、デバッグできるようになる。</p>									
成績評価の方法									
<p>演習課題の提出、学習態度、出欠状況を総合評価する。 期限内に提出されたか、求められる機能を満たしているかを評価する。未提出の場合には成績評価を行わない。</p>					<table border="1"> <tr> <td>課題</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>学習意欲</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	80%	学習意欲	20%
課題	80%								
学習意欲	20%								
使用テキスト・教材									
適宜演習課題を提示する。									
授業内容・授業計画									
			時間数		時間数				
C言語の復習・ソフトウェア開発の概要									
統合開発環境の基本的な使い方			6						
C言語でのプログラム作成			4						
実行・コンパイル・デバッグ			4						
C言語プログラムの実践			4						
C#の基本・文法			4						
統合開発環境によるアプリ開発			4						
最終課題・評価			4						
その他			関連科目						